

パブリックコメントで寄せられた意見(要旨)と市の考え

	意見(要旨)	市の考え
個人1	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が勉強したり集まれるスペースや、手続き中子どもを預かってくれたり、遊ばせるスペースが欲しい。予約制でもいいので、無料で使えるイベントスペースがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が交流できるような住民スペースの設置を検討してまいります。また、駐車場などをイベントスペースとして活用する形も考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課など、プライバシーが多く関わる話をする課は、個室などで対応してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来庁者の個人情報やプライバシーの保護に配慮するため、窓口カウンターの仕事切りや個人ブース等、相談内容に応じた個別の相談室の配置を検討してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・個室が殺風景や荷物が置いてあるので、緑を置いたり、子どもが遊べるスペースを作り、安心して話せる空間作りをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児連れの方が安心して利用できる授乳室や待ち時間に子どもと一緒に過ごせるキッズスペースの設置を検討してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子や障害のある方などいろんな方が使いやすい環境づくりをしてほしい。バリアフリーで移動をしやすくしたり、場所案内が大きくあったり、音声案内があったり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて来庁される方でもわかりやすいユニバーサルデザインやバリアフリーへ配慮した計画を検討してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレを各階に配置。女性男性トイレ共にオムツ台設置。 ・市で活動している人たちが活動を知ってもらうための発信スペースがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や車いす利用者、妊婦、乳幼児連れ、オストメイト等に対応した、だれもが快適に使える多機能トイレの設置を検討してまいります。 ・行政情報や富士吉田市の魅力を紹介する情報コーナーの設置を検討してまいります。また、市で活動している人たちの情報発信スペースについても検討してまいります。
個人2	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎建設は、市役所老朽化・防災対応が理由に上がっているが、具体的な費用対効果、他市の事例比較(増改築vs新築)維持管理費の試算が示されているか？ ・市民(代表者でなく)が判断できる下記の資料を提出したうえで市民参加型の説明会や意見交換会を開催し、慎重な検討を求める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現庁舎の耐震・耐用年数の詳細なデータ ・ 新築の費用推計・維持費と現庁舎の改修・分散活用・オンライン化との比較 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所庁舎は、既に68年を経過しようとしています。長寿命化計画により80年まで利用可能となっておりますが、それに伴う改修費用などの増大が見込まれます。当然ながら抜本的な建て替えが基本になることと判断をいたしました。また、維持管理費等については、基本設計以降において検討を進めてまいります。 ・住民説明会や市民の皆様への意見募集等の機会は、今後も継続してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> この計画について、将来人口を前提として以下の点について、再検討を求める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来人口(2040年・2060年)を前提とした庁舎規模・職員数・行政需要の再試算 ・新築一択ではなく、既存庁舎の耐震補強・段階的整備・暫定対応案の可能性 ・行政手続きのデジタル化や窓口機能の分散化を含めた代替案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の庁舎規模・職員数・行政需要ですが、現時点で想定する10年後の職員数は、定年延長などにより、現時点の職員数とそれほど変わりはないものと試算しております。また、庁舎規模については10年後の職員数を基準に他の市町村でも多く使われている総務省基準に基づき、算出しております。 ・市役所庁舎は、既に68年を経過しようとしています。長寿命化計画により80年まで利用可能となっておりますが、それに伴う改修費用などの増大が見込まれます。当然ながら抜本的な建て替えが基本になることと判断をいたしました。 ・昨年度、実施した市民アンケートにおいては、「窓口が分散化し不便である」という回答が特に多かったことも踏まえるなか、外部検討会議において分散化ではなく、集約することを前提に検討しております。集約化をすることで市民サービスの向上を図ることができると考えております。

団体1	<p>・これからの庁舎としての機能の中で災害及び環境への配慮は必須と思われ、それらへの対応についての検討が十分になされていると思った。雑用水や消防用水、屋外散水だけではその絶対的な使用量から、折角の井戸のポテンシャルが十二分に発揮されない懸念もある。計画書にも述べられているが、井水の熱エネルギーとしての積極的な利用を、費用対効果を踏まえた検討をしてほしい。</p>	<p>・自然エネルギーの活用につきましては、重要性を十分認識しております。費用対効果を検証し、採用を検討してまいります。</p>
団体2	<p>・設計費計上前に、説明会などを複数回開催し、市民が共有できる課題とすること</p> <p>・建替え以外の選択肢(改修・縮小・分散)の比較資料を公表すること</p>	<p>・住民説明会や市民の皆様の見聞募集等の機会は、今後も継続してまいります。</p> <p>・市役所庁舎は、既に68年を経過しようとしています。長寿命化計画により80年まで利用可能となっておりますが、それに伴う改修費用などの増大が見込まれます。当然ながら抜本的な建て替えが基本になることと判断いたしました。</p> <p>・また、実施した市民アンケートにおいては、「窓口が分散化し不便である」という回答が特に多かったことも踏まえるなか、外部検討会議において分散化ではなく、集約することを前提に検討しております。集約化をすることで市民サービスの向上を図ることができると考えております。</p>
	<p>・80億円が市財政に与える影響を分かりやすく提示すること</p>	<p>・本事業の財源としては、一般財源、地方債だけでなく、防衛省のまちづくり支援事業等の国の補助金を充当できるよう現在、協議を進めているところであります。</p> <p>防衛省のまちづくり支援事業等の国の補助金が活用できることにより、より市の持ち出しとなる一般財源が減額となるので、ひいては市民の方の負担が軽減されることとなります。</p> <p>市財政に与える影響については、基本設計を実施すると同時に、市民の方にご提示できるよう努めてまいります。</p>
	<p>・設計段階への移行が「既成事実化」にならないよう、立ち止まること</p>	<p>令和8年度は基本設計を実施する予定はございません。</p>